

これまでに行った研修カリキュラムの例（平成19年実施）

日付	時間	科目名	内容
1日目	9:30-9:45	表敬訪問	
2日目	9:30-10:10	水圧管理	・平均水圧の求め方、日中と夜間の水圧変化、理想的な水圧
	10:10-10:50	マッピング管理	・活用内容 ・更新方法
	11:00-12:00	漏水修理	・修理にかかる時間、過去の配水小管・本管の修理事例（漏水発見から復旧まで） ・漏水量の測定方法（配水本管、配水小管、給水装置）
	13:00-14:00	監視システム	・流量、水圧関係 ・配水地 ・管路事故予測
	14:00-14:40	水質管理	・給水区域の水質とその管理
	14:50-15:50	東京水道の歴史	
3日目	10:00-12:00	弁・栓の維持管理	・配水管付属施設の機能保持
	10:00-12:00		・配水小管付属施設管路診断
4日目	10:00-12:00	大口径調査技術開発	・大口径管内調査ロボット ・配水管（給水装置含む）実技施設
5日目	10:00-12:00	直結給水について	・直結給水方式 ・ポンプ仕様 ・負圧による水質汚染の有無 ・プースタポンプによる増圧対応
6日目	10:00-12:00	実技研修	・漏水発見 ・配管実習

東京都水道局では、毎年多くの研修・視察を受け入れています。昨年度だけでもアジネット加盟都市の2都市17名を含む47の国と地域から425名の研修生や視察者を迎えており、アジネット事業においても各都市の要望に応じた期間・内容での研修実施が可能です。